

住所から番地以降を取り出す



FIND 文字列内を検索する	=FIND(検索文字列,対象,開始位置) [検索文字列] が [対象] に指定した文字列内の何文字目にあるかを検索します。[開始位置] を省略すると [対象] の先頭から検索します。
IFERROR エラーの場合は別の値を表示する	=IFERROR(値,エラーの場合の値) [値] がエラーの場合は、[エラーの場合の値] を表示します。
MIN 最小値を求める	=MIN(数値1,数値2,...) 指定した数値の最小値を求めます。[数値] に文字列が含まれている場合は無視します。
MID 文字列を途中から切り出す	=MID(文字列,開始位置,文字数) [文字列] を [開始位置] から [文字数] 分取り出します。[文字数] が [文字列] の長さより多い場合は、文字列の末尾まで取り出します。

目的

住所から、番地以降を取り出します。ここで、住所の番地には算用数字が使われていることを前提とします。

1 住所から算用数字の文字位置を求め、

	A	B	C	D	E	F	G
1	番地の分割						
2	No.	氏名	都道府県	住所	文字位置	番地	
3	1	野村 真由美	東京都	東村山市青葉町5-77-99			
4	2	牧本 晴海	東京都	練馬区関町南2-123-45			
5	3	佐竹 洋二郎	山形県	東村山郡山辺町近江6789			
6	4	熊谷 美紀	神奈川県	横浜市長北区小机町3456-78			
7	5	小向 裕司	千葉県	市川市鬼高4-32-100			
8	6	笠原 輝美	奈良県	大和郡山市朝日町2-3456			
9	7	木元 円香	北海道	札幌市中央区北三条西24689			
10	8	曾山 圭輝	埼玉県	秩父郡長瀬町岩田12345			
11	9	遠藤 巧	福島県	郡山市うねめ町9876			
12	10	浅野 由美子	東京都	町田市中町5-55-667			
13	11	佐藤 佳代	東京都	大島町元町2-4-68			
14	12	丘 祥子	群馬県	吾妻郡嬭恋村今井36903			
15							

2 番地以降を取り出したい。

上の図では、都道府県名が切り分けられていますが、切り分けない状態でも同様に操作できます。ただし、建物名は含まない住所とします。

方法

住所の番地は1~9のいずれかの数字から始まることを利用し、FIND関

数で各数字の文字位置を調べます。すると、見つかった数字以外はすべて [#VALUE!] エラーになります。下の図では、「5」で始まる番地が、住所の先頭から8文字目にあることがわかります。

A	B	C
	住所	番地先頭の数字位置
	東村山市青葉町5-77-99	8
算用数字	番地先頭の数字の位置	エラー表示の回避
1	#VALUE!	
2	#VALUE!	
3	#VALUE!	
4	#VALUE!	
5		8
6	#VALUE!	
7		10
8	#VALUE!	
9		13

=FIND(A5,\$B\$2)
住所の中で「1」の文字位置を検索します。

番地の数字以外はすべてエラーになります。

上の図のセル範囲 [B5:B13] から FIND 関数で見つかった8文字目だけを取り出すには、MIN 関数を使いますが、指定する数値の範囲にエラーがあると、取り出せません。そこで、IFERROR 関数を使ってエラー表示を回避してから MIN 関数を使います。

A	B	C
	住所	番地先頭の数字位置
	東村山市青葉町5-77-99	8
算用数字	番地先頭の数字の位置	エラー表示の回避
1	#VALUE!	-
2	#VALUE!	-
3	#VALUE!	-
4	#VALUE!	-
5		8
6	#VALUE!	-
7		10
8	#VALUE!	-
9		13

=MIN(C5:C13)
範囲に含まれる文字は無視されるので、FIND関数で見つけた文字位置が求められます。

=IFERROR(B5,"-")
FIND関数のエラーを「-」に置き換えます。

IFERROR 関数に指定しているセル [B5] には FIND 関数が入力されているので、「B5」の部分に FIND 関数を代入して、1 つにまとめておきます。また、算用数字の文字位置をまとめて検索するには、配列数式を使います。

A	B	C
	住所	番地先頭の数字位置
	東村山市青葉町5-77-99	8
算用数字	エラー表示の回避	
1	-	
2	-	
3	-	
4	-	
5		8
6	-	
7		10
8	-	
9		13

=MIN(B5:B13)
セル範囲 [B5:B13] に入力された配列数式をもとに、最小値を取り出します。

{=IFERROR(FIND(A5:A13,B2),"-")}
FIND関数の [検索文字列] にセル範囲を指定して、配列数式にします。

MIN関数の引数に指定したセル範囲 [B5:B13] の代わりに、この範囲に入力されている関数を代入すると、番地先頭の数字位置を求める式が1つにまとまります。こうして求めた文字位置を目印に、MID関数を使って、住所から番地以降を取り出します。

数式解説

Excel Sec102

$$\{=\text{MIN}(\text{IFERROR}(\text{FIND}(\$H\$3:\$H\$11,\text{D3}),"-"))\}$$

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1		番地の分割							
2	No	氏名	都道府県	住所	文字位置	番地	作業用		
3	1	野村 真由美	東京都	東村山市青葉町5-77-99	8	5-77-99	1		
4	2	牧本 晴海	東京都	練馬区関町南2-123-45	7	2-123-45	2		
5	3	佐竹 洋二郎	山形県	東村山郡山辺町近江6789	10	6789	3		
6	4	熊谷 美紀	神奈川県	横浜市港北区小机町3456-78	10	3456-78	4		
7	5	小向 裕司	千葉県	市川市鬼高4-32-100	6	4-32-100	5		
8	6	笠原 輝美	奈良県	大和郡山市朝日町2-3456	9	2-3456	6		
9	7	木元 円香	北海道	札幌市中央区北三条西24689	11	24689	7		
10	8	登山 隼輝	埼玉県	秩父郡長瀬町岩田12345	9	12345	8		
11	9	遠藤 巧	福島県	郡山市うねめ町9876	8	9876	9		
12	10	浅野 由美子	東京都	町田市中町5-55-667	6	5-55-667			
13	11	佐藤 佳代	東京都	大島町元町2-4-68	6	2-4-68			
14	12	丘 祥子	群馬県	吾妻郡嬭恋村今井36903	9	36903			
15									
16									
17									

$$=\text{MID}(\text{D3},\text{E3},100)$$

- 1 FIND関数の[検索文字列]に、算用数字の入ったセル範囲 [H3:H11] を指定します。
- 2 [対象]に住所のセル [D3] を指定し、1で指定した各数字を検索します。
- 3 IFERROR関数の[値]にFIND関数を指定し、FIND関数の結果がエラーになるかどうかを判定しています。
- 4 [エラーの場合の値]に"- "を指定し、FIND関数による[#VALUE!]エラーを文字列の"- "に置換します。
- 5 1~4により、FIND関数で見つかった数字位置と"- "で構成された配列をMIN関数の[数値]に指定し、最小値を取り出しています。その後、セル [E3] に入力した配列数式をオートフィルでセル [E14] までコピーします。この際、コピーしても作業用セルがずれないように、セル範囲 [H3:H11] は絶対参照で指定します。
- 6 MID関数の[文字列]に住所のセル [D3] を指定します。
- 7 [開始位置]には5で取り出した文字位置のセル [E3] を指定します。
- 8 [文字数]には、末尾まで取り出せる十分な値を指定します。ここでは「100」としています。6~8により、取り出した文字位置を目印に番地を取り出しています。